

事業結果概要書（その2）兼収支決算書

記入例（製造業）

1. 申請者概要

名称（屋号）	株式会社〇〇〇
代表者役職氏名	代表取締役社長 若草 一郎

2. 事業結果概要

※適宜枠を広げてご記載ください。書き切れない場合は、別紙（A4サイズ）の添付も可。

① 売上回復事業

新型コロナウイルス感染症対策に伴う、本事業による新たな取り組み内容  
 ※従来から行っている事業内容は補助の対象とはなりません。

【ア】 販路拡大

該当する取り組み内容を全て選択してください。

(具体的な内容)	新たな取り組み	従来の内容
	オンライン展示会に出展した。	実際の展示会のみで、オンライン展示会に出展したことはなかった。

【イ】 営業形態の変更（デリバリー、ネット販売等）

(具体的な内容)	新たな取り組み	従来の内容
	①自社製品のインターネット販売を開始し、インターネット販売用の専用サイトを構築した。 ②オンライン商談サービスの利用を開始した。	①インターネット販売は実施していなかった。 ②商談は対面や電話のみで、オンライン商談サービスの利用はしていなかった。

その他【ウ】

(具体的な内容)	新たな取り組み	従来の内容
	抗菌効果のある〇〇を開発し、販売を予定している。	従来の主力商品である〇〇には抗菌効果がなかった。

記載例のように箇条書きで具体的に記入します。  
 第三者が一見して用途のわからない「支出品目」が生じないように

事業内容①

支出内訳①

証拠書類番号	支出目的・用途	支出品目	数量(a)		単価(b) (税込み)	補助事業に要する経費(c) (税込み) (c)=(a) × (b)	補助対象経費(d) (税抜き)
			数	単位			
1	ア	オンライン展示会出展費	1	式	44,000	44,000	40,000
2	イ	ECサイト構築委託費	1	式	55,000	55,000	50,000
3	イ	オンライン商談サービス利用料	1	式	55,000	55,000	50,000
4	ウ	抗菌性評価試験委託費	1	式	88,000	88,000	80,000
5						0	
6						0	
7						0	
8						0	
9						0	
10						0	
11						0	
						242,000	220,000

支出品目の該当する取り組み内容(ア、イ、ウ)を記載してください。

★添付する領収書等の写しには、「証拠書類番号」欄に記載している番号を記入してください。

- (注) 1 補助対象経費は、消費税及び地方消費税を除いた額を記入してください。  
 2 補助対象経費(dとh)の合計額×3/4の額が20万円を下回る場合は、補助金の対象にはなりません。  
 3 補助金交付申請額=(dとh)の合計×3/4(千円未満切り捨て)で、50万円が上限です。  
 4 適宜、行を追加してください。  
 5 経費の積算根拠が確認できる書類(領収書、引き落とし口座の写し等)を添付してください。

②感染防止対策事業

該当する取り組み内容を全て選択してください。

新型コロナウイルス感染症対策に伴う、本事業による新たな取り組み内容  
 ※従来から行っている事業内容は補助の対象とはなりません。

【ア】 衛生対策（施設改修、設備改修等）

(具体的な内容)	新たな取り組み	従来の内容
	①各事業所に空気清浄機を購入し、電源確保のためのコンセントを増設した。 ②工場内の換気設備の改修を行った。	①②各事業所とも空気清浄機はなく、エアコンを使用すると換気に問題があった。

【イ】 衛生対策（サービス利用等）

(具体的な内容)	新たな取り組み	従来の内容
	本社及び工場の消毒を委託した。	専門業者による消毒作業は実施しなかった。

【ウ】 その他（機器購入等）

(具体的な内容)	新たな取り組み	従来の内容
	①本社（来客用卓上2個、事務机用8個）及び大淀工場（事務机用3個）の事務スペース及び来客スペースにアクリルパーテーションを設置した。 ②テレワーク用のタブレット端末を購入した。（テレワーク対象者3人分）	①アクリルパーテーションは使用していなかった。 ②テレワークは実施していなかった。

事業所単位や職員全員に配布するなど、購入数に算出基準が明示できる場合は、(具体的な内容)欄に算出根拠を記入してください。

事業内容②

支出内訳②

証拠書類番号	支出目的・用途	支出品目	数量		単価(f) (税込み)	補助事業に要する経費(g)=(e)×(f)	補助対象経費(h) (税抜き)
			数	単位			
1	ア	空気清浄機	3	台	88,000	264,000	240,000
2	ア	換気設備の改修	1	式	550,000	550,000	500,000
3	ア	コンセント増設工事(本社)	1	式	11,000	11,000	10,000
4	ア	コンセント増設工事(工場)	1	式	11,000	11,000	10,000
5	イ	消毒作業委託	1	式	88,000	88,000	80,000
6	ウ	アクリルパーテーション(本社)	10	個	2,200	22,000	6,000
7	ウ	アクリルパーテーション(工場)	3	個	2,200	6,600	20,000
8	ウ	テレワーク用タブレット	3	台	44,000	132,000	120,000
9						0	
10						0	
11						0	
合計						1,084,600	986,000

★添付する領収書の写しには、「証拠書類番号」欄に記載している番号を記入してください。

- (注) 1 補助対象経費は、消費税及び地方消費税を除いた額を記入してください。  
 2 補助対象経費(dとh)の合計額×3/4の額が20万円を下回る場合は、補助金の対象にはなりません。  
 3 補助金交付申請額=(dとh)の合計×3/4(千円未満切り捨て)で、50万円が上限です。  
 4 適宜、行を追加してください。  
 5 経費の積算根拠が確認できる書類(領収書、引き落とし明細書等)を添付してください。

交付申請時に提出した「事業実施計画書兼収支予算書」に記載の範囲内。

事業実施期間

令和2年 4月 1日 ~ 令和2年10月 30日

### 3. 収支決算書

支出額合計		補助事業に要する経費 (税込み)	補助対象経費 (税抜き)	補助金交付見込額
	①売上回復対策	242,000	220,000	
	②感染防止対策	1,084,600	986,000	
	合計	1,326,600	1,206,000	500,000

・補助金交付申請額には、補助対象経費×3/4(千円未満切り捨て)と50万円のいずれか小さい額を記載してください。

・原則、「補助金交付見込額」が交付申請額となります。交付申請書には、「補助金交付見込額」の額を記入してください。

収入額合計	区分	予算額	備考
	自己資金	776,600	
	国補助金		充当不可
	県補助金	500,000	奈良県新型コロナウイルス感染症 対策緊急支援事業補助金
	借入金		
	その他	50,000	〇〇〇補助金
合計額	1,326,600		

「その他」欄には、何により得た収入なのかを、具体的に記載してください。

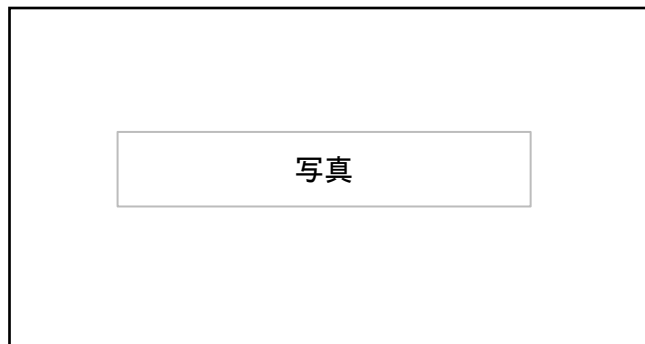
ただし、国や地方公共団体及び県の他の補助金を本申請の事業に充当することはできません。

なお、国の持続化給付金や県の休業協力金は、用途が定められていませんので、「自己資金」扱いです。

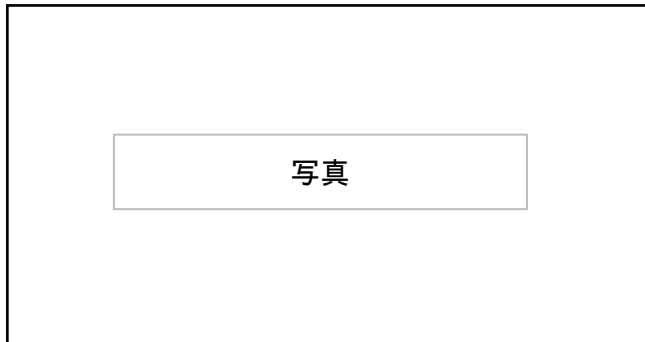
設置備品等の写真（適宜ページを追加して貼付してください）



アクリルパーテーション購入(〇月〇日購入)



テレワーク用タブレット購入  
(〇月〇日購入)



空気清浄機購入(〇月〇日購入)



換気設備の改修(〇月〇日改修完了)